

4

地下と屋上を積極的に利用した 都会型キャンパス

既存の地下体育館を有効活用し、
自然の光・風を立体的に取り入れた感性を育む学習・生活空間

郁文館夢学園

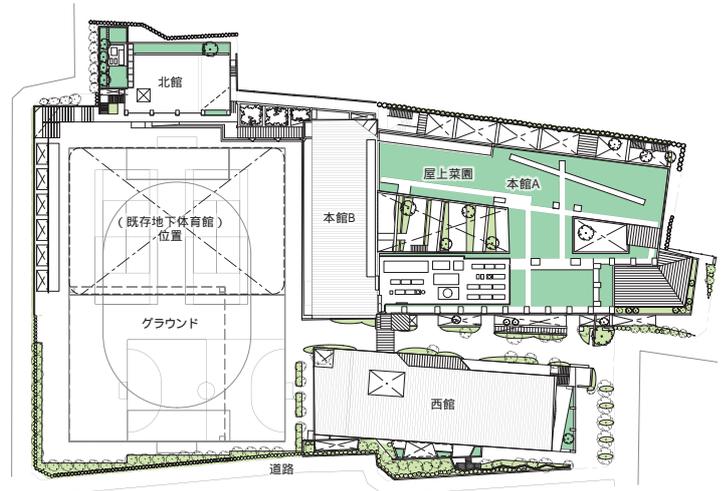
学科等/中高一貫・普通科 クラス数・生徒数/47クラス・1506人 建築主/学校法人郁文館夢学園
所在地/東京都文京区向丘2-19-1 工事種別/改築 敷地面積/7,398㎡ 延床面積/13,205㎡ 竣工/2010年2月

計画・整備のねらい

地下階までの光庭と、それに面する階段状のテラスにより、明るく快適な校舎
屋上緑化によるエコ化。自然との触れ合いの場の創出



全景。校舎中央の段々テラスから光・風を導入。屋上菜園は農作業や生物の観察に活用。



配置図



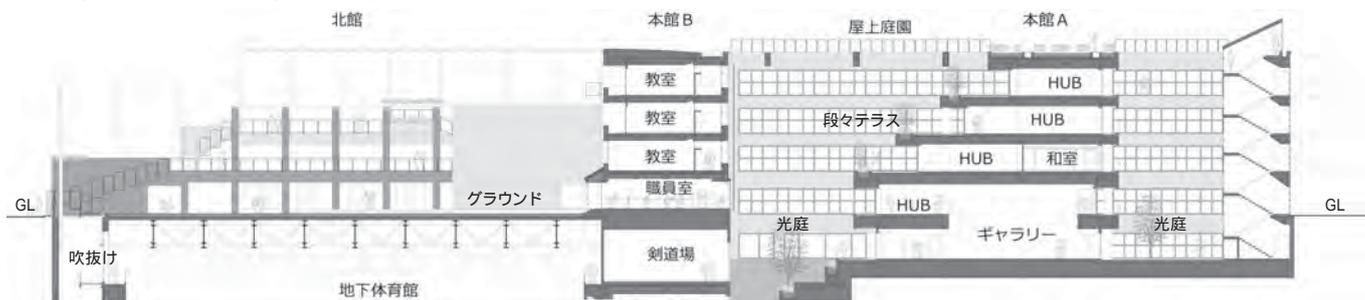
地下1階平面図



2階平面図

計画・整備のポイント

既存地下体育館を有効活用し、グラウンド面積を確保するとともに、体育館や校舎の一部を地下化することにより、周辺地域の日照、通風に配慮



断面図

施設整備の工夫点

四季の移ろいが感じられる学習・生活・交流空間



学年全体の交流の場、ハブスペース。2つの光庭を通して光・風が感じられる。



屋上。農場と連携して生徒が農作業を行い、作物の成長観察や土壌分析、栄養分析、生物の観察、調理実習など多様な活動に役立っている。

主体的な学習を支える空間構成



個別学習やグループ学習、情報収集に対応した、2フロアにまたがる図書館。下階フロアは、教育支援や調べ学習支援を想定した「智の森」として資料と場を仕づらえている。



理科実験室(生物室)。横に広く大きな机を配置しているので、生徒一人ひとりが顕微鏡等を用いた実験や実習を行いやすい。生徒が前を向いて着席することで講義形式にも対応。

教育効果のポイント

各階にある快適な交流スペース、メディアコーナーは、休み時間や放課後に生徒を惹きつけ、自発的な学習・コミュニケーションを活発化している。

図書館は利用しやすく、落ち着いた環境のため、自習学習、グループ学習の場として生徒たちに評判が良い。食育の一環として、屋上菜園の野菜を食堂で提供している。